散策コース

案内標識を目印に散策してみよう！

宇奈岐日女神社周遊コース（4.6km：徒歩2.5時間）
由布院駅→A→B→C→R→G→宇奈岐日女神社→H→Q→S→遊歩道→御幸橋Ⓑ→B→五差路Ⓐ→由布院駅

水辺周遊コース（4.04km：徒歩2時間）
由布院駅→A→B→御幸橋Ⓑ遊歩道へ→S→O→M→川に沿って進む→金鱗湖散策→J→K→由布院駅

ドライブコース（12.67km：車2時間）
由布院駅→五差路Ⓐ→F→大杵所見学→県道11号→蹴裂権現社→旧日野病院→国道210号→県道216号→U→由布院駅

サイクリングコース（5.29km：自転車1時間）
由布院駅→A→B→T→城橋→S→R→G→宇奈岐日女神社→H→I→J→K→M→O→川沿い→S→城橋→T→五差路Ⓐ→由布院駅

駅裏サイクリングコース（4km：自転車40分）
由布院駅→A→B→D→Z→Y→X→W→佛光寺→若宮八幡社→U→役場通り→由布院駅

北馬車巡りコース（4.6km：徒歩2.5時間）
由布院駅→五差路Ⓐ→T→O→P→I→H→G→宇奈岐日女神社→R→S→遊歩道→御幸橋Ⓑ→B→A→由布院駅

〈山折り〉

由布院おさんぽマップ

くわしい情報をQRでチェックしてみよう！

由布院盆地（ゆふいんぼんち）

由布院盆地は周囲を1000m級の山々に囲まれた自然豊かな里山の温泉地です。由布院温泉の歴史は古く、奈良時代に編集された「豊後風土記」の中にその名が記述されています。

宇奈岐日女神社（うなぎひめじんじゃ）

最寄りの案内標識▶G

通称「六所宮」と呼ばれ、地域の人々から親しまれている神社。六所とは奉祭する六柱の神々を表しています。由布院は弥生以来の遺跡を持つ沼で動物の「うなぎ」を沢沼の精霊として祀ったのが古来の祭神ではないかと言われています。

蹴裂権現社（けさきごんげんしゃ）

「大むかし、由布院盆地は周辺を山々に囲まれ、満々と水をたたえ、秀麗な由布岳の姿を美しく逆さに映し出す大きな湖でした。人々はその周辺の斜面や丘陵地でつつましく生活していました。ある日…」

佛山寺（ぶっさんじ）

最寄りの案内標識▶I

金鱗湖と由布岳、そして由布院の自然に囲まれたこのお寺は、地元の人々にとって重要な寺院のひとつです。約千年前、日向国霧島神社での神のお告げにより、由布岳の山腹にて庵を結び観音像を刻し、祀ったのがはじまりです。

金鱗湖（きんりんこ）

最寄りの案内標識▶J

由布院の自然豊かな象徴でもある金鱗湖。由布岳の下にある池という事で、大分なまりで「岳ん下ん池（岳の下にある池）」と呼ばれていました。明治17年（1884年）に儒学者の毛利空桑（もうりくうそう）が、湖の魚の鱗が夕日に輝くのを見て「金鱗湖」と名付けたと伝えられています。

天祖神社（てんそじんじゃ）

今でこそ、金鱗湖一帯が観光地として多くの人々が頻繁に行き交うようになりましたが、数十年前までは朝夕、村人たちが浄水を汲んで背負って帰る姿が当たり前のように見られていました。地元の温湯（ぬるゆ）地区の子どもたちが集まるこの神社の両脇には由布岳から湧き出た水がさらさらと流れています。

大杵社（おおごしゃ）

最寄りの案内標識▶F

大杵社は祭神農業の神椎根津彦を祀っています。建立されたのは、宇奈岐日女神社と同時期の創設といわれ、宇奈岐日女神社（六所宮）六末社のひとつです。ご神木の大杉は、樹齢1000年以上といわれ、昭和9年、国の天然記念物に指定されています。

興禅院（こうぜんいん）

最寄りの案内標識▶C

建徳元年（1370年）に無著（むちゃく）禅師により開山したといわれる、曹洞宗の禅寺です。中津市耶馬渓の「青の洞門」をたった一人で造った禅海和尚が得度し、修行を積んだお寺でもあります。

佛光寺（ぶっこうじ）

最寄りの案由標識▶V

佛光寺は禅宗の曹洞宗で、町内では興禅院と同宗です。開基は、興禅院の第2世、玉田妙高を講じて応永21年（1417年）に建立されました。寺院内には、昭和36年に大分県指定有形文化財に指定された六地蔵石幢が建立されています。

若宮八幡社（わかみやはちまんしゃ）

最寄りの案内標識▶U

創建は弘仁14年（823年）と古く、伊勢神宮とならぶ日本の二大早廟です。碑文は、安政6年（1859年）に建立されたもので、拝殿に向かって石段を登った右側にあります。堂々たる朱塗りの楼門は、町内では、若宮八幡と六所宮だけです。

旧日野病院（きゅうひのびょういん）

日野病院は、江戸時代から続く医家で、この建物は明治27年（1894年）に日野医家第3代目にあたる日野要氏によって建てられました。病院の建物は儀洋風で、このような建築は県下でもっとも古く、日本でも珍しい建物であり、平成11年に国の重要文化財に指定されました。

由布岳（ゆふだけ）

由布院盆地の北東部にそびえる由布岳は標高1584m、東峰と西峰からの2つのピークからなり、円錐形をしていることから、豊後富士とも呼ばれ親しまれています。古くから神の山と崇められ、「豊後風土記」や「万葉集」にも登場します。そんな由布岳の恋物語はQRコードから